
20 世界の人びとのための
26 JICA基金
ニュースレター

前
期



写真提供：ディーヨ フォーラム JAPAN

目次

- JICAの取り組み/寄附金事業について...2
- 2025年度世界の人びとのためのJICA基金収支報告...3
- 2025年度の採択結果...5
- 実施団体の活動報告〈特集：アフリカ〉...9
- 実施団体の活動国・地域一覧...12
- 実施団体ごとの活動報告...13

－ご寄附を頂いた皆様へ－



写真提供：国際NGO ViVID

いつも温かいご寄附をお寄せいただき、誠にありがとうございます。

皆さまお一人ひとりのご支援が、現場で活動する人びとにとって大きな励みとなり、日々の取り組みを前に進める確かな力となっています。

皆さまの思いを大切に受け止めながら、お預かりしたご寄附を必要としている方々へ確実に届けてまいります。

今後も活動の様子や現場からの声をお伝えし、取り組みの歩みをご共有してまいりますので、引き続き温かく見守っていただけますと幸いです。

JICAの取り組みについて

国際協力機構（JICA）は、日本の政府開発援助（ODA）の実施機関です。包括的な開発援助機関として、技術協力、有償資金協力、無償資金協力、市民参加、海外協力隊、国際緊急援助などの幅広いスキームを活用し、開発途上国に寄り添った協力を行っています。

ビジョン

信頼で世界をつなぐ

活動拠点

国内15拠点、海外96拠点

※2025年11月1日時点

協力対象国

145か国・地域

※2025年11月1日時点

JICAの広報誌「JICA Magazine」（隔月刊）

世界中の開発途上国の現状や、現場で活躍する人々の姿や活動内容を紹介しています。デジタル版をJICAウェブサイトからご覧いただけます。



<https://jicamagazine.jica.go.jp/>



JICAの寄附金事業

JICAは、「人間の安全保障」の実現を目指し、パートナーと手を携えて、様々な開発課題に取り組んでいます。

JICAへの寄附は、こうした取り組みに参加し、世界とつながるかたちの一つです。

世界の人びとのためのJICA基金

NGOなどの日本の市民の皆様による国際協力活動を支援します。

JICAの事業全般

使い道を限定せずJICA事業全般に活用します。

JICA海外協力隊応援基金

JICA海外協力隊の活動支援、帰国隊員の社会課題解決への取り組みの支援などに活用します。



写真：久野真一

詳しい情報と寄附の方法は、JICA寄附サイトをご覧ください。

<https://www.jica.go.jp/activities/schemes/partner/private/kifu/index.html>



世界の人びとのためのJICA基金活用事業とは

本事業は、市民の皆様、法人・団体の皆様の「国際協力活動を応援したい」という想いのこもった寄附金「世界の人びとのためのJICA基金」を財源とした事業です。

日本のNGO等の団体が、開発途上国・地域の人びとの貧困削減や生活改善・向上に貢献する活動や、秩序ある多文化共生社会の構築に関わる活動を支援しています。本事業を通じて、実施団体の知見と経験が蓄積され、ステップアップしていくことで、寄附の価値が何倍にもなって世界の人びとに届いていくことを期待し、毎年提案事業を募集しています。

（なお、2026年度からは制度見直しを行い、1案件当たりの支援上限額を拡大しました。）



世界の人びとのためのJICA基金2025年度収支報告

「世界の人びとのためのJICA基金」に2025年度お預かりした寄附金の実績と、2025年度のJICA基金活用事業の収支報告です。

世界の人びとのためのJICA基金2025年度収支報告

2025年度（令和7年度）寄附金受入実績等			2025年度（令和7年度）寄附金使用実績	
	件数	金額（円）		金額（円）
個人	538	1,425,000	配分事業（46案件／伴走支援業務等を含む）	34,992,315
法人・団体	60	186,249,611	運営費留保分（寄附金収入額の10%）	18,767,461
			次年度繰越	133,914,835
合計	598	187,674,611	合計	187,674,611

2025年度にご寄附を頂いた法人・団体

寄附の公表を承認された法人・団体を50音順に掲載しています。

FVジャパン株式会社

株式会社関西みらい銀行

小牧市国際交流協会

真田KOA株式会社

サントリービバレッジソリューション株式会社

ダイードリンコ株式会社

ニュートンワークス株式会社

株式会社八十二長野銀行

英重機工業株式会社

株式会社ゆうちょ銀行

一般財団法人ゆうちょ財団

株式会社みなと銀行

株式会社りそな銀行

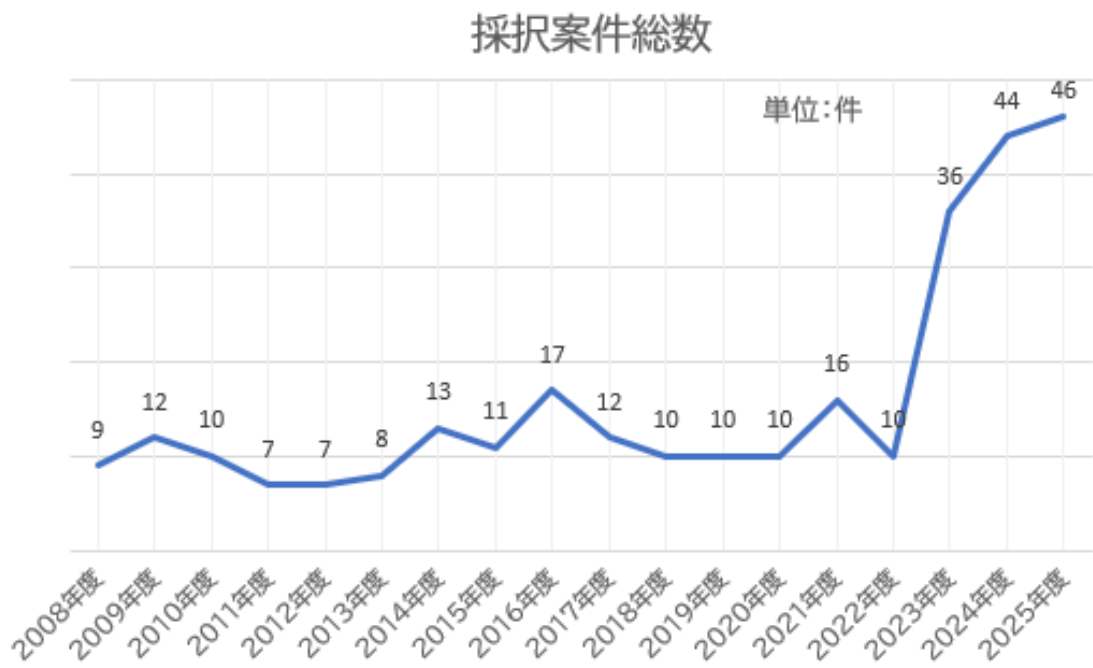
寄附の公表と法人・団体のロゴマークの掲載を承認された法人・団体を50音順に掲載しています。

 コカ・コーラ ボトラーズジャパングループ FVジャパン株式会社	 小牧市国際交流協会	 サントリービバレッジソリューション株式会社
	 八十二長野銀行	 地球環境の未来を守るために・・・ 英重機工業株式会社
 ゆうちょ銀行	 一般財団法人ゆうちょ財団	 りそなグループ

JICA基金活用事業 採択案件について

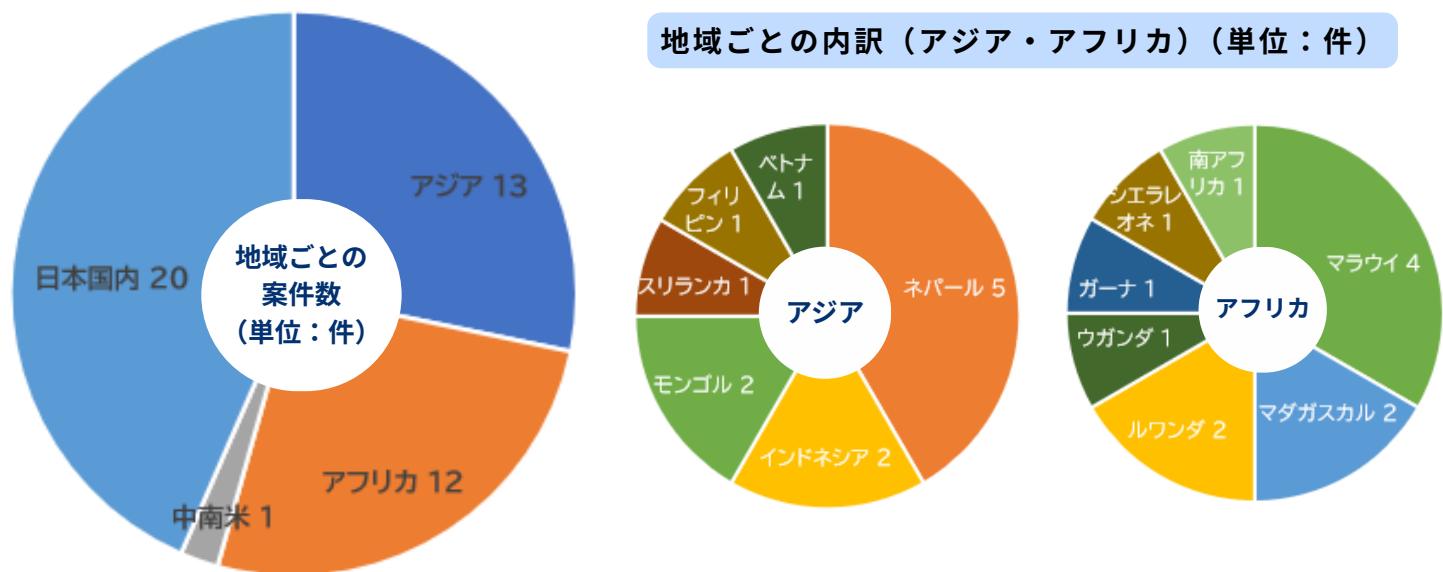
事業開始した2008年度から2025年度までに288件の事業が採択されました。
過去の採択案件の一覧はJICA寄附サイトに掲載されています。

https://www.jica.go.jp/activities/schemes/partner/private/kifu/09_list.html



2025年度に採択されたJICA基金活用事業案件

77件の提案のうち46案件が採択されました。海外事業ではアジアが13案件6か国、アフリカが12案件7か国と半分以上を占めました。
分野別では、保険医療・教育・ジェンダー平等と女性のエンパワメント・栄養の改善など様々な分野の活動が今後各団体によって実施されます。



2025年度募集で採択されたJICA基金活用事業実施団体

2025年度募集で採択された団体と案件情報を担当JICA国内センターごとの順番に掲載しています。
※実施期間は2026年6月1日時点での情報です。

団体名	案件名	活動地	実施期間	分野	JICA国内センター
NPO法人・函館アフリカ支援協会（Hakodate Africa Support Association）HASA	UGGAと協働する生理の自己管理教育とナプキンの縫製技術教育のクラブ活動化	ウガンダ	2026/2/3～ 2027/2/2	ジェンダー平等と女性のエンパワメント	北海道（札幌）
北海道国際交流の会「サイハン」	ゲル地区の子どもたちに届ける「歯を守る活動」	モンゴル	2025/11/1～ 2026/10/31	保健医療	北海道（札幌）
グローバル畜産開発アクション（GLDA）	スリランカにおける畜産開発への協力を通じた農村のレジリエンス構築	スリランカ	事業開始に向けて手続き中	農業・農村開発	北海道（帯広）
一般社団法人SackOmi	子ども・若者を中心とした浦幌町の持続可能な国際交流・多文化共生実証事業	日本	2026/2/9～ 2026/6/30	多文化共生	北海道（帯広）
一般社団法人にほんごさぼーと北海道	言葉でつながる多文化共生事業～多言語・防災をテーマにした実践型プログラム～	日本	2025/12/18～ 2026/10/1	多文化共生	北海道（帯広）
カントリーパーク新浜	エコツーリズムの地域間連携を通じた、マダガスカル東部タンブル湖周辺農漁村の持続可能なまちづくり促進	マダガスカル	2026/2/16～ 2027/2/15	自然環境保全	東北
特定非営利活動法人チームふくしま	3.11発「お互いさまチケット」による在留外国人支援・恩送り事業	日本	2026/2/24～ 2027/2/23	多文化共生	東北
とちぎに夜間中学をつくり育てる会	自主夜間中学と国際交流協会の連携による多文化共生社会の構築推進と『中学教科単語帳』（日本語⇒ウルドゥー語）の発行	日本	2025/11/4～ 2026/11/3	多文化共生	筑波
ディーヨ フォーラム JAPAN	ネパールにおける学習に遅れがちな生徒の保護者への支援（フェーズ2）	ネパール	2026/3/1～ 2026/10/31	教育	筑波
やさしいにほんごでぼうさい普及委員会	だれ一人取り残さない防災教育の推進～防災かるたが拓く、外国人を含む災害弱者への防災力向上プロジェクト～	日本	2026/2/1～ 2027/1/31	多文化共生	筑波
NPO法人ナタデココ	文化交流教室を中心とした主体的多文化共生モデルの構築	日本	2026/1/5～ 2027/1/4	多文化共生	東京
特定非営利活動法人アジア人文文化交流促進協会	「顔の見える共生支援」モデルの周知拡大及び多拠点準備事業	日本	2026/2/2～ 2027/1/31	多文化共生	東京
特定非営利活動法人イーグル・アフガン復興協会	イーグルアフガン明德カレッジ	日本	2026/6/1～ 2027/5/30	多文化共生	東京

団体名	案件名	活動地	実施期間	分野	JICA国内センター
ポシロの会	ラリトプール市における地域住民や学校や親を通じて子供の栄養改善指導	ネパール	2026/6/1~2027/5/31	栄養の改善	東京
特定非営利活動法人火山防災推進機構	子ども地域防災専門家になろう！	インドネシア	2025/12/22~2026/7/31	防災・復興を通じた災害リスクの削減	東京
特定非営利活動法人新潟国際ボランティアセンター（NVC）	新潟の若者とベトナムの孤児院の子どもたちをつなぐ、教育支援とソーシャルスキル向上プロジェクト	ベトナム	2026/1/6~2027/1/7	教育	東京
地球っ子グループ	多文化共生プロジェクト～外国ルーツの人が地域に発信！ともに学び育む街づくり～	日本	2026/4/1~2027/3/31	多文化共生	東京
特定非営利活動法人CLOUDY	New Dawnプロジェクトに次ぐ就労支援プロジェクト	ガーナ	2026/8/1~2027/7/31	貧困削減・生活向上	東京
特定非営利活動法人Alazi Dream Project	シエラレオネ共和国ケネマ県における性教育トレーナー育成プロジェクト	シエラレオネ	2026/1/6~2027/1/5	ジェンダー平等と女性のエンパワメント	東京
特定非営利活動法人ASHA	ネパールの地方医療における医療情報管理を通じた医療の質向上支援	ネパール	2026/4/1~2027/2/26	保健医療	東京
特定非営利活動法人Learning as Development for All	ルワンダ国現地教材開発による地方ECDでの教育支援プロジェクト	ルワンダ	2026/5/1~2027/4/30	教育	東京
一般社団法人多様性ストーリーラボ	はまっこ多文化ストーリーズ：外国ルーツと日本人の中高生が出会う対話の場	日本	2026/4/10~2027/4/9	多文化共生	横浜
特定非営利活動法人ヒマラヤの星たち	学校における児童の眼の健康を守る事業2年次	ネパール	2025/12/15~2026/7/31	保健医療	横浜
NPO法人健康長寿研究教育センター	マラウイにおける高血圧ゼロのモデル地区作りプロジェクト	マラウイ	2026/4/6~2027/4/5	保健医療	横浜
国際協力団体 Keep The Smile	マダガスカルの児童栄養改善に向けた森林農法の新たな果樹・野菜導入のスタートアップ支援	マダガスカル	2026/1/15~2026/11/30	栄養の改善	横浜
特定非営利活動法人Connection of the Children	「世界の夜ごはん」プロジェクト～多文化共生の学びと居場所づくり～	日本	2026/7/1~2027/6/30	多文化共生	横浜
Popo ea pele	南アフリカタウンシップエリアの聾学校でのインクルーシブアートワークショップ	南アフリカ	2026/2/2~2026/7/30	社会保障・障害と開発	横浜
一般社団法人DiVE.tv	体験ツアーと進路相談を通して日本を深掘りするキャリア教育	日本	事業開始に向けて手続き中	多文化共生	中部

団体名	案件名	活動地	実施期間	分野	JICA国内センター
Projeto Sementinha (プロジェクト セメンチーニャ)	在日ブラジル人コミュニティにおける継承語教育やアイデンティティを育む支援及び移民劇や多国籍児童の相互交流を通じた多文化理解促進事業	日本	2026/4/1～ 2027/1/29	多文化共生	中部
一般社団法人SETTEN	正規雇用を目指す外国人と企業の SETTEN	日本	2026/2/1～ 2026/10/31	多文化共生	中部
NPO法人UNISTAR (旧：国際協力NGO Anya's)	レイテ島における地域循環型就労支援プロジェクト「すべての人に人権を」分け隔てのない世界への一歩として	フィリピン	2026/4/1～ 2027/2/10	貧困削減・生活向上	中部
特定非営利活動法人みらい	日本の小中学校、高校に在籍する外国にルーツをもつ児童生徒への日本語指導と心の居場所づくりの定着化	日本	2026/4/1～ 2027/2/26	多文化共生	中部
特定非営利活動法人多文化共生リソースセンター 東海	在日ネパール人第二世代等のための「名古屋ネパール語教室」の運営支援	日本	2025/12/1～ 2026/11/30	多文化共生	中部
一般社団法人三田市国際交流協会	共に築く防災の未来：多様性を力に変える持続可能な外国人防災リーダーのフォローアップ事業	日本	2026/5/22～ 2027/5/21	多文化共生	関西
一般社団法人GOJOplus	マラウイ共和国ブランタイヤ県クンテンブエ地区における地域人材の育成を通じた地域障害児者の支援事業	マラウイ	2025/12/15～ 2026/12/14	社会保障・障害と開発	中国
一般社団法人わかいふあむ	多文化共生を通じた日本式農薬管理モデルの地域転用実践事業	日本/インドネシア	2026/6/1～ 2027/5/31	農業・農村開発	中国
国際交流サークルicotto	多文化共生に向けた外国人住民と市民による居場所づくり	日本	事業開始に向けて手続き中	多文化共生	中国
Orphan Affairs Unit (O.A.U.) Japan	マラウイ農村地域で住民運営による Sky Kids Academy 幼稚園の教員能力向上及び組織強化	マラウイ	2026/5/15～ 2026/12/29	教育	四国
一般社団法人国際ふりかけ協議会	ルワンダ産「ふりかけ」を活用した農村地域における母子の栄養改善支援事業	ルワンダ	2026/2/13～ 2027/2/12	栄養の改善	九州
NPO法人BSケア	日本の助産師が開発した痛みのない乳房ケアの技術をモンゴルに移転する協働事業～医療者向け技術と母親向けセルフケアの伝達～	モンゴル	2026/4/10～ 2027/4/9	保健医療	九州
一般社団法人SOWER	インドネシア、ジョグジャカルタ、チヨデ川の居住者と周辺事業者のフットパス・コースの作成プロジェクト	インドネシア	2026/2/27～ 2027/2/26	都市・地域開発	九州
AfricAsiA (アフリカジア)	マラウイ:HIV陽性者女性とともに「安心して購入できる」石鹸づくりプロジェクト (フェーズ2)	マラウイ	2026/5/1～ 2027/4/30	ジェンダー平等と女性のエンパワメント	九州

※なお採択後にやむを得ない事情により辞退となった案件については上記に記載されていません。

【活動報告：特集】 アフリカでの取り組み

本ニュースレターの後半では、個別案件20件の活動報告を掲載していますが、その中でも特徴的なテーマを特集としてご紹介します。

今回は掲載案件の25%を占めるアフリカを対象とした案件について、「教育」や「ジェンダー平等と女性のエンパワメント」の取り組みにスポットを当ててご紹介します。



写真提供：AfricAsia ※活動報告は15ページに掲載しています

アフリカでの活動

アフリカで活動する実施団体に共通するのは、現地で困難に直面する人びとを、共に向き合う仲間として捉える姿勢です。

女性や子どもが教育や収入の機会を得られず、尊厳が脅かされる状況を前に「目の前の一人の力になりたい」という思いから、草の根レベルの活動が始まりました。

現地の声に耳を傾け、学びや技術を共有し、現地の人びとが自ら選べる行動できる力を育むこと。地域が主体となって未来を切り拓くこと。その小さな積み重ねこそが、持続的な変化につながると信じて活動をしています。



【ご参考】 JICA Magazine 2024年10月号

（特集）ジェンダー平等誰もが自分らしく生きられる社会へ

一人ひとりが性別に捉われず、自分らしく、尊厳をもって生きられる社会の実現に向けた取り組みを紹介しています。

https://jicamagazine.jica.go.jp/magazine/?date=2024_10



アフリカ | 現場に向き合い、未来をつくる

教育 | 学びの基盤をつくる

アフリカでは、子どもたちが学び続けるための環境が、十分に整っていない地域もあります。幼い頃から学びにつながる場を確保すること、そして、一人ひとりの特性に応じた関わり方を学ぶことは、教育の大切な土台となります。

マラウイでは、農村部の学校教育を支えるとともに、教員や保護者が学校運営に主体的に関われるような力を育て、教育の質を高める取り組みが行われています。(Orphan Affairs Unit (O.A.U.) Japan, P14)

一方、モザンビークでは、障害の有無にかかわらず、誰もが適切な教育を受けられるよう、インクルーシブな教育環境づくりが進められています。(一般社団法人モザンビークの新しい教育を支援する会, P13) 形は異なっても、誰もが学びを継続できるようにするために、人や仕組みを支える教育が、現地で着実に広がっています。



写真提供：Orphan Affairs Unit (O.A.U.) Japan

女性のエンパワーメント | 自分の力で未来を創る



写真提供：特定非営利活動法人しまなみアートファーム

暮らしを支える仕事を持つことや、自分のことを自分で決められること。そうした当たり前が、アフリカの現場では、女性や女兒にとって、十分に行き届いていない状況があります。

マラウイでは石鹼製造による生計向上に取り組み、帳簿管理や役割分担を学ぶことで、女性が主体的に事業を運営する力を育んできました。(AfricAsia, P15) ジンバブエでは音楽教師の育成や女子校での授業を通じて、学びが将来の仕事につながる道をひらいています。(特定非営利活動法人しまなみアートファーム, P14) また、ガーナでは包括的性教育を重ねることで、女子生徒が安心して学び続けられる環境づくりが進められています。(国際NGO ViVID, P13)

こうした現場で続けられてきた取り組みが、女性が地域の中で前に進んでいくための確かな支えとなっています。

実施団体からの報告

次ページから、2024年度に採択され、2025年12月までに事業終了した20案件の活動をご紹介します。

ウェブサイトやSNSアカウントを公開している実施団体はQRコードを掲載しています。JICA寄附サイトに掲載しているニュースレターPDF版では団体名にリンクを貼っています。

各案件の詳しい内容や活動結果を記載した終了時活動報告書は、JICA寄附サイトの「[活用事業一覧](#)」の当該案件の欄に掲載していますので、ぜひご覧ください。



https://www.jica.go.jp/activities/schemes/partner/private/kifu/09_list.html

< 報告書の見方 >

案件名：採択された提案事業の名前

実施団体：採択された団体の名前（団体所在地）

実施期間：〇〇〇〇年〇月～〇〇〇〇年〇月

活動地域：国・県・地域



この事業が目指す
SDGsゴール

活動写真

TOPICS | この活動で実現したこと
主な活動内容と結果の報告です

EPISODE | 活動の現場から

活動中の関係者の声や気づきの
報告です

活動
写真

MESSAGE | ご寄附を頂いた皆さまへ

実施団体からのメッセージです

団体情報
QRコード

ニュースレターバックナンバー

2018年度発行以降のニュースレターデータ版をJICA寄附サイトに掲載しています。

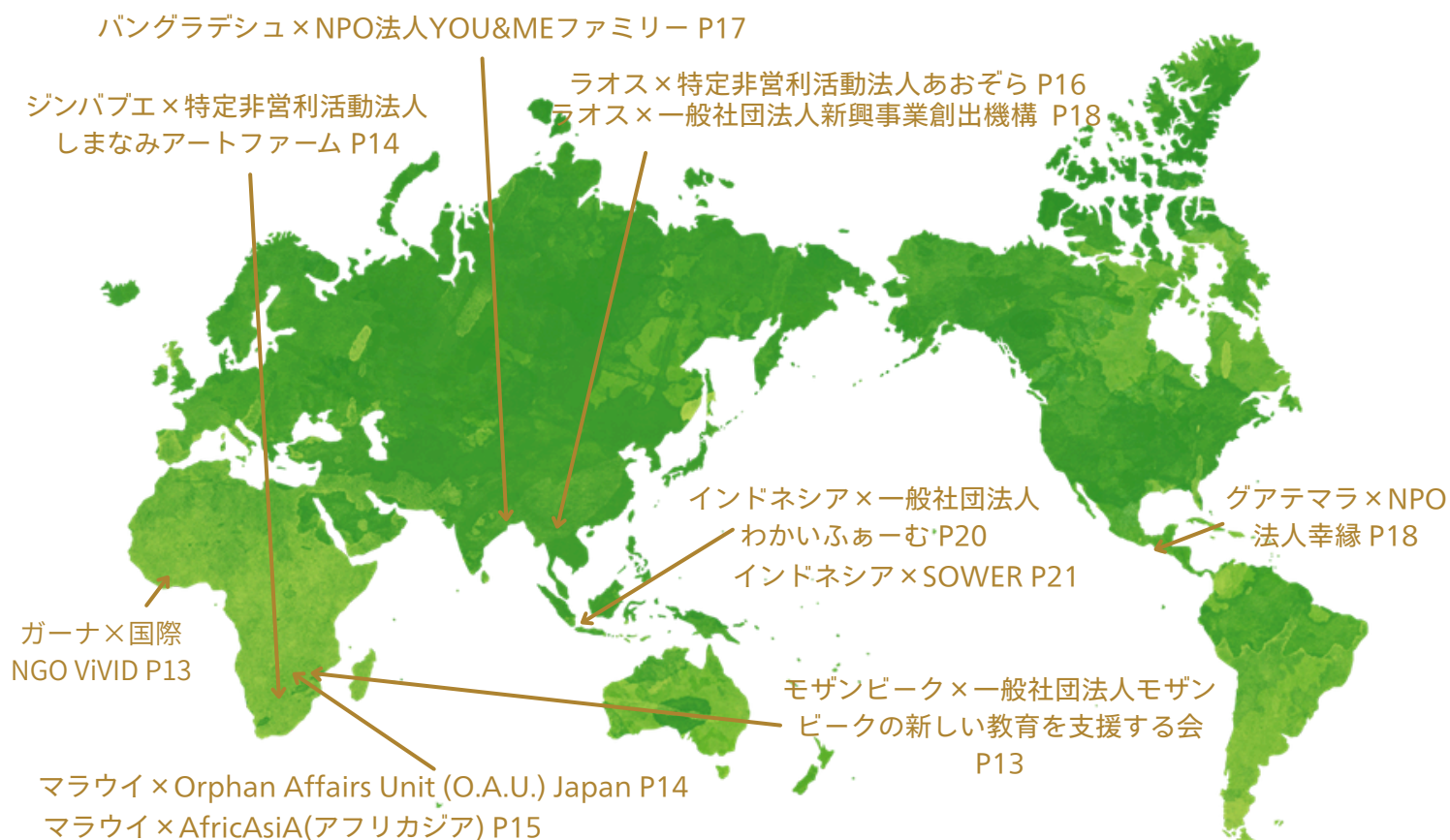
<https://www.jica.go.jp/activities/schemes/partner/private/kifu/01.html>



活動報告掲載団体の活動国・日本国内の活動地一覧

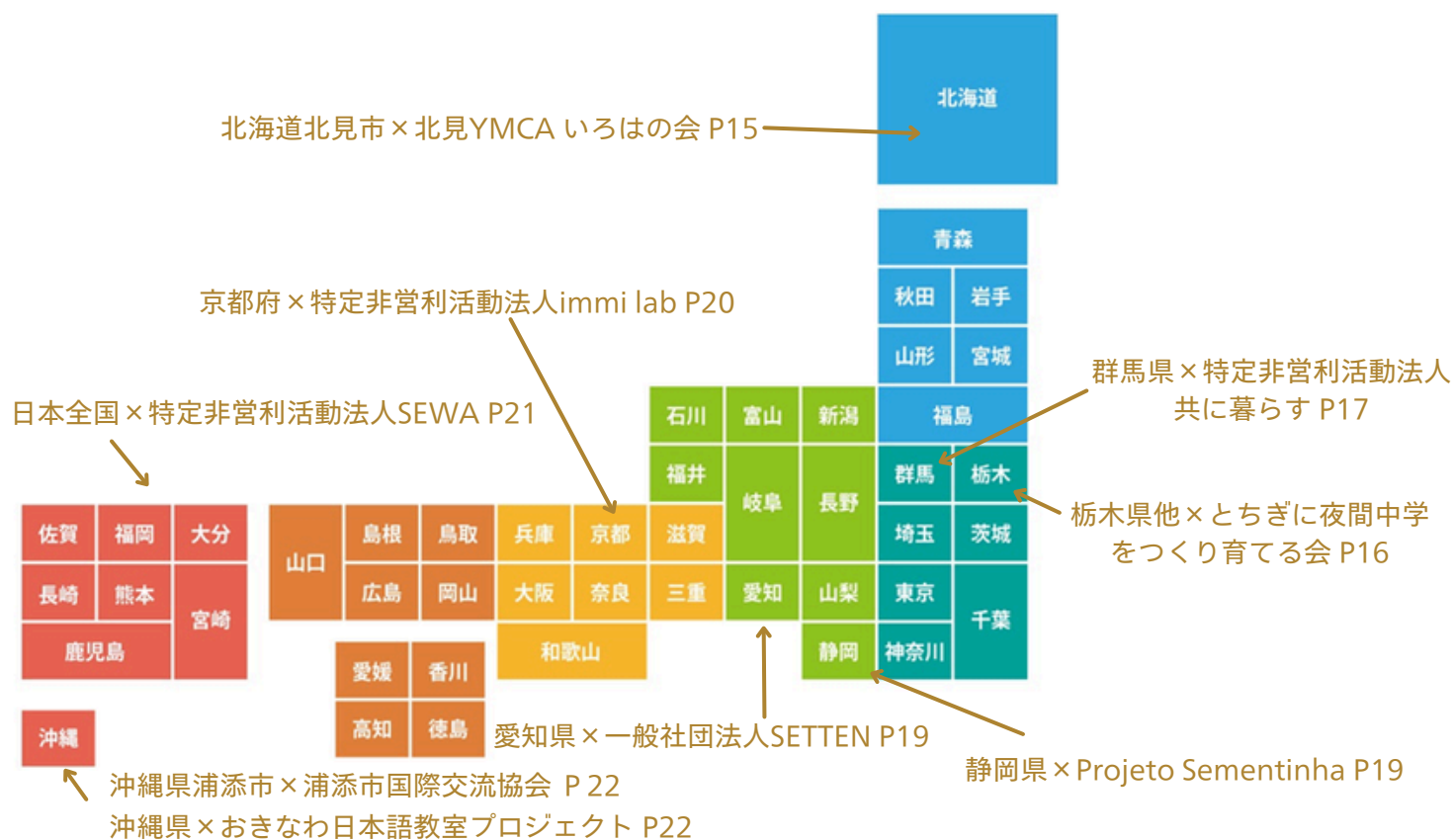
本ニュースレターに掲載している海外で事業を実施した団体の活動国です。

活動国×実施団体名、掲載ページ



本ニュースレターに掲載している日本国内で事業を実施した団体の主な活動地域です。

活動地域×実施団体名、掲載ページ



案件名：ガーナ共和国セイチェレ村「村おこし」事業2024

～ジェンダーからのアプローチ～

実施団体：国際NGO ViVID（神奈川県横浜市）

実施期間：2024年12月～2025年12月

活動地域：ガーナ・アシャンティ州クマウ・セイチェレ地方セイチェレ村



TOPICS | この活動で実現したこと

現地教員グループと性教育専門機関と連携し、教材整備や授業計画、事前事後テストの設計を行ったうえで、年齢に応じた参加型性教育セミナーを4校で実施しました。高校生等に向けた布ナプキン制作を通じ、親子の対話も促進され、保護者の7割が家庭での制作に参加し、9割以上が学校での性教育に賛成と回答しました。

ekyere Methodist Primary School の1年生で行われた性教育座学セミナー

EPISODE | 活動の現場から

活動の一場面として、現地教員との意見交換が印象的でした。性教育セミナーの実施方法について、放課後や休日開催など実践的な提案が次々と出され、子どもたちにより良く届けたいという当事者意識と事業ニーズの高さを実感しました。



一般住民向け布ナプキン裁縫セミナー

MESSAGE | ご寄附を頂いた皆さまへ

ご寄附により、セイチェレ村で教員主体の性教育と布ナプキン制作を組み合わせ実践的な取り組みを進めることができました。生理による欠席減少や男子生徒の理解促進など行動変容の兆しも見られ、今後は教材充実とフォローアップを通じて活動を広げていきます。

団体情報はこちら



案件名：モザンビーク共和国マプトにおけるABA(応用行動分析)研修事業

実施団体：一般社団法人モザンビークの新しい教育を支援する会

（兵庫県神戸市）

実施期間：2025年2月～2025年12月

活動地域：モザンビーク・マプト市、マトラ市



TOPICS | この活動で実現したこと

モザンビークではインクルーシブ教育の実践が十分に進んでいない状況を踏まえ、発達障害児支援で活用されるABA（応用行動分析）をテーマに研修を実施しました。教員・学生・保護者等50名以上が参加し、家庭や教育現場で活かせる療育支援の理解と実践力向上につながりました。

研修受講生の様子

EPISODE | 活動の現場から

応用行動分析やインクルーシブ教育への関心が、教員や学生の間で確実に広がっていることを実感しました。現場の教員や学生からの実践方法を模索する声が多く、学びへの意欲の高さが印象的でした。



ムタツサ大学での講演の様子

MESSAGE | ご寄附を頂いた皆さまへ

活動への支援に感謝申し上げます。私達が2023年に開園した幼稚園は3年目を迎え、スタッフの成長と共に運営体制が整い、保護者との信頼関係も深まりました。2026年の小学校開校に向け、誰もが安心して学べる環境づくりを一步ずつ進めていきます。

団体情報はこちら



案件名：マラウイ農村地域で住民運営によるSky Kids Academy幼稚園の
教員能力向上及び組織強化

実施団体：Orphan Affairs Unit (O.A.U.) Japan（香川県東かがわ市）

実施期間：2024年12月～2025年11月

活動地域：マラウイ・リロングウェ県カンゴマ地区、チレカ地区



TOPICS | この活動で実現したこと

マラウイ農村部の私立幼稚園Sky Kids Academyを対象に、幼児教育の質向上と学校運営力強化を目的とした支援を実施しました。現地での運営・財務確認や教員・保護者向け研修により課題が明確化出来ました。ビジョンや会計ルールの整備が進み、日本への招聘研修を通じて計画的運営の重要性への理解も深まりました。

本邦研修時の様子

EPISODE | 活動の現場から

課外授業で柔道場を訪問し、マラウイ人柔道家が道場での作法や礼儀について、楽しさを交えながらも真剣に指導する様子が印象的でした。在マラウイ日本国大使館からも高い関心が寄せられ、大使の見学につながりました。



課外授業での柔道体験の様子

MESSAGE |

ご寄附を頂いた皆さまへ

JICA基金のご支援により、マラウイ農村部の幼稚園支援と日本招聘研修を実施できました。支援を受け育った経験を持つ現地スタッフが「次世代に恩を返したい」という想いで学校運営を改善し、将来につながる一歩となりました。

団体情報は[こちら](#)



案件名：ジンバブエにおける女性音楽教師育成を通じた女性の地位・収入向上を目指すプロジェクト

実施団体：特定非営利活動法人しまなみアートファーム（愛媛県今治市）

実施期間：2024年11月～2025年10月

活動地域：ジンバブエ・ハラレ市、グウェル市、チェグツ市



TOPICS | この活動で実現したこと

現地講師による音楽教師研修を実施し、5名中4名が修了しました。女子高校では鍵盤ハーモニカの授業を開始し、20名の生徒が音楽の基礎を学びました。現地に即した指導により、講師は修了試験を自立運営できるまでに成長し、プログラムは現地主導で継続可能な体制へと発展しました。

女子高校での最終試験時の様子

EPISODE | 活動の現場から

現地の支援組織によるホームレス女性の自立支援事業の修了式に参加し、修了証を手に涙する姿から教育の力を実感しました。音楽が地域に結束と希望を生み出しています。



電気供給のない中鍵盤ハーモニカを使っでの練習風景

MESSAGE |

ご寄附を頂いた皆さまへ

皆さまのご支援により、ジンバブエで音楽教育の芽が着実に育っています。鍵盤ハーモニカを通じて若者や女子生徒が自信を深め、音楽の喜びが地域に広がりました。ご寄附が、子どもたちの新たな一歩につながっています。

団体情報は[こちら](#)



案件名：マラウイ:HIV 陽性者女性で製造販売する石鹸品質向上の研修と収益拡大プロジェクト

実施団体：AfricAsia（熊本県玉名郡玉東町）

実施期間：2024年12月～2025年12月

活動地域：マラウイ・ムジンバ県北部エヌクエニ・ムズズ・リロングウェ



TOPICS | この活動で実現したこと

マラウイ北部でHIV陽性女性14名を対象に、石鹸製造による生計向上支援を実施しました。日本企業の技術協力による動画教材と現地研修を組み合わせ、販売可能な品質での自立生産体制を構築しました。運営力強化により販売数は約3倍に増加し、経済的自立とエンパワーメントにつながりました。

石鹸のカット方法の指導の様子

EPISODE | 活動の現場から

もとは洗濯用などの日用石鹸を身体にも使っていた女性達へ、技術研修前は全身用石鹸の価値が伝わりにくかったものの、実際に使って「質が高い」「家族が喜んでいる」との声が上がりました。自ら社会に対して良い製品を生み出しているという誇りが育まれたことは、本事業の大きな成果です。



ブランドとして販売するパッケージ写真

MESSAGE |

ご寄附を頂いた皆さまへ

偏見や孤立を経験してきた女性たちが、安心して意見を共有できる「職場」を築き、役割を持って活動することで自己肯定感を高めています。皆さまのご支援により、女性たちが安心して自分らしく生きるための確かな基盤となり、ここまで進むことができました。



団体情報はこちら

案件名：日本語能力試験（JLPT）受験集中コース

実施団体：北見 YMCA いろはの会（北海道北見市）

実施期間：2025年2月～2025年12月

活動地域：北海道オホーツク管内（北見市地域）



TOPICS | この活動で実現したこと

日本語資格の取得を目指す外国人就労者や学生のために、地域では民間初となるJLPT受験集中コースを実施しました。JICA基金からの支援を活用し、専門の人材や前例がない中でも、1年間で計20回の講座を継続しました。受講者の声を直接聞きながら内容を改善し、日本語学習支援に必要な多くの工夫を現場で学ぶ機会となりました。本事業は、寄附があったからこそ挑戦できた取り組みです。

第1回講師育成講習会～JLPTの勉強会

EPISODE | 活動の現場から

日本語を学ぶ過程は、学習者が日本社会を知るだけでなく、地域住民が参加者の文化や背景に触れる機会にもなりました。教室を通じて、互いを「隣人」として理解する関係が少しずつ生まれています。



時々背伸びをしてリラックス！

MESSAGE |

ご寄附を頂いた皆さまへ

本地域で民間団体として初めて日本語資格「JLPT受験集中コース」を1年間（前期後期各10回）実施できました。多くの学びと当事者の声を得られたのも皆様のご寄附のおかげです。心より感謝し、この経験を活かします。



団体情報はこちら

案件名：『中学教科単語帳』（日本語⇒シンハラ語）の発行と多様な児童生徒が共に学びあう学習環境づくりの促進

実施団体：とちぎに夜間中学をつくり育てる会（栃木県宇都宮市）

実施期間：2024年11月～2025年11月

活動地域：栃木県、東京都、その他全国都道府県



TOPICS | この活動で実現したこと

2024年12月に『中学教科単語帳』（日本語⇒シンハラ語）を1,000部発行しました。中学校教科書から頻出・重要語を抽出して翻訳し、全国の実地現場へ普及を進めています。在京スリランカ大使館への表敬訪問や発行記念交流会の開催、多様な学び教室の運営を通じ、多文化共生の学習環境づくりに取り組みました。

スリランカ大使館表敬訪問

EPISODE | 活動の現場から

2025年3月のオープンキャンパスには栃木市長・教育長も来訪し、自主夜間中学の意義が高く評価されました。行政との連携も進み、本事業を契機とした学びの場づくりが「輝く”とちぎ”づくり表彰」最優秀賞受賞につながりました。

とちぎ蔵の街自主夜間中学での朝のミーティング



MESSAGE |

ご寄附を頂いた皆さまへ

昨年度のネパール語版に引き続き、今年度、シンハラ語単語帳の発行に取り組めたことを大変嬉しく思います。誰もが無料で学べる場づくりが評価されましたが、本事業を実施することが出来なければこの受賞はありませんでした。この機会を与えていただいたこと、皆様に改めて感謝申し上げます。次はウルドゥー語に挑戦します！

案件名：ラオスにおける安全安心な出産のための医療人材育成プロジェクト

実施団体：特定非営利活動法人あおぞら（栃木県宇都宮市）

実施期間：2024年12月～2025年11月

活動地域：ラオス・ビエンチャン都ビエンチャン県トゥラコム郡



TOPICS | この活動で実現したこと

ラオスでは妊産婦・新生児死亡率が高い状況にあり、本事業では安全な出産を支える医療人材育成に取り組みました。国・県・郡病院で講習会を実施し、母児のリスク管理能力を強化しました。学習意欲が高く継承意識を持った医療者が増えたことで、今後、地方の小さな村までも知識や技術の普及と安全な出産の拡大につながります。

県病院でのラオス人指導者による新生児蘇生法研修の様子

EPISODE | 活動の現場から

フォローアップ講習で力を高めた医療者が、学ぶ側から指導者へと役割を広げ、郡病院や診療所で主体的に指導する姿が見られました。参加者全員が意欲的に取り組み、笑顔あふれる講習となり、学びが現場で確実に活かされています。

国立病院での新生児蘇生法フォローアップ研修の様子



MESSAGE |

ご寄附を頂いた皆さまへ

皆さまの温かいご支援により、ラオスで安全な出産を支える医療人材育成を行うことができました。命の始まりを支え、学びを広げていく医療者を今後も支援し「命をすくい、笑顔をつくる」活動を続けてまいります。心より感謝申し上げます。

団体情報はこちら



案件名：外国人児童と接する教育関係者に対するセミナーの実施

実施団体：特定非営利活動法人共に暮らす（群馬県前橋市）

実施期間：2025年1月～2025年12月

活動地域：群馬県



TOPICS | この活動で実現したこと

本事業では、外国にルーツを持つ子どもたちと関わる教育関係者・支援者が集い、学び合い、対話する場を創出しました。意見交換を通じて現場の悩みや違和感を共有し、言語、文化、家庭環境などが複雑に絡み合っていることを再確認することが出来ました。本事業は答えを示す場ではなく、今後の実践につなげる出発点となりました。

先行事例として箕面国際交流協会（大阪府）を訪問

EPISODE | 活動の現場から

セミナーでは、日頃の悩みや迷いが率直に共有され

「悩んでいるのは自分だけではなかった」との声が多く聞かれました。講義や対話を通じて違和感が言葉になり、共感の輪が広がる中で、新たな気づきを持ち帰る機会となりました。



セミナー講演後のグループワーク

MESSAGE |

ご寄附を頂いた皆さまへ

ご支援により、教育現場の悩みを共有し、外国にルーツを持つ子どもたちの「ことば」と「未来」を考える場が生まれました。皆さまの想いは現場へ、子ども達一人ひとりの未来へ確かに繋がっています。全ての子どもが安心して学べる社会を目指し活動を続けます。本当にありがとうございました。



団体情報はこちら

案件名：バングラデシュ国ガジプールの学校（中等教育）における貧困層生徒

職業訓練と、それを持続可能にするための収益化事業～2年次

実施団体：NPO法人YOU&MEファミリー（埼玉県草加市）

実施期間：2024年11月～2025年11月

活動地域：バングラデシュ・ガジプール県シリアチャラ地域



TOPICS | この活動で実現したこと

職業訓練クラスでは、洋裁・パソコンともに専門講師の指導により実践的技術を習得しました。修了生の就業と収入向上を目指し、学校制服や女性民族衣装の製作販売による収益化にも挑戦し、売上は目標の約9割を達成しました。校内店舗も開設し、今後はモデル事業として地域への展開を図ります。

洋裁職業訓練クラス

EPISODE | 活動の現場から

保護者の事情で転校した生徒が、画一的な指導を経験したことで本校の愛ある教師の指導と職業訓練を含む手厚いカリキュラムの価値を実感し、本人の強い希望で本校に戻ってきたことを保護者から伺いました。



全教師ビジネスミーティング

MESSAGE |

ご寄附を頂いた皆さまへ

JICA基金により、バングラデシュ・ガジプールで職業訓練（パソコン・洋裁）を実施できました。若者が技術を身につけ、自分らしく働き生きていく未来のために地域に広がるモデルとして展開していきます。温かいご寄附に心より感謝申し上げます。



団体情報はこちら

案件名：ラオスで日本のITパスポート試験をビジネス常識やITリテラシーの測定に活用してビジネス人材のスキル底上げにつなげる取り組み

実施団体：一般社団法人新興事業創出機構(JEBDA)（東京都中央区）

実施期間：2024年11月～2025年11月

活動地域：ラオス・ビエンチャン都



TOPICS | この活動で実現したこと

ラオス政府からの相談を受け、日本のITパスポート試験を活用したデジタル人材育成のパイロット事業を実施しました。過去問題をラオス語に翻訳して試験を実施し396人が受験しました。結果分析から、ラオスでもスキル測定と育成への有効性が確認され、今後は人材育成への展開も期待されています。

ラオス技術通信省のICT機構（Institute of Information and Communication Technology）での試験実施風景

EPISODE | 活動の現場から

活動を通じて青年同盟のIT教育センターとつながり、関心を得たことをきっかけに、ポリカムサイ県に加えサワンナケート県、ルアンナムター県でもITパスポート試験のトライアルを実施しました。今後の連携深化につながる貴重な出会いとなりました。



首都ビエンチャンの青年同盟ITセンターにて

MESSAGE |

ご寄附を頂いた皆さまへ

ラオスの産業発展に向けた協力の機会を、寄附者の皆さまからいただき、心より感謝申し上げます。後発開発途上国からの卒業を目前に控えるラオスで、自立した産業基盤づくりにつながるスキル測定の第一歩となる国際協力事業を実現できました。



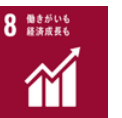
団体情報は[こちら](#)

案件名：未来のコミュニティリーダー育成を目指したグアテマラ現地学習塾定着プロジェクト

実施団体：NPO法人幸縁（愛知県刈谷市）

実施期間：2024年11月～2025年10月

活動地域：グアテマラ・ソロラ県サンティアゴ・アティトラン市



TOPICS | この活動で実現したこと

グアテマラの公立小学校では学習機会が不足していることから、2023年に基礎学力向上と情操教育を担う学習塾を開設しました。JICA基金により開講2年目の運営を支援し、塾生30名の計算力は平均1.6倍、語彙力は1.2倍に向上しました。さらにピアノ演奏や折り紙制作を通じ、学ぶ意欲と表現力の向上につながりました。

スキルタイム5分間音読の様子。音読は前頭前野活性化の要。

EPISODE | 活動の現場から

3年前、基礎的な計算につまずいていた児童が、継続的な学びを通じて、百ます計算を2分以内で解けるまでに成長しました。学力は必ず伸びるという確信をスタッフ全員で共有できたとても価値のある成果です。



読書タイム。本屋や図書館が身近にないので貴重な時間

MESSAGE |

ご寄附を頂いた皆さまへ

皆さまの支えにより、グアテマラでの学習塾は開設から3年間継続しています。音読及び計算の反復練習や清掃活動などの日本式教育を通じ、学力と社会性を育てています。今後は日本とグアテマラ双方の学びを高め合う場へと発展させていきます。



団体情報は[こちら](#)

案件名：在日ブラジル人コミュニティにおける継承語教育やアイデンティティを育む支援および移民劇を通じた多文化理解促進事業

実施団体：Projeto Sementinha（静岡県浜松市）

実施期間：2024年12月～2025年11月

活動地域：静岡県



TOPICS | この活動で実現したこと

日本とブラジルの移民の歴史を伝える劇を浜松市の高校や大学等で上演しました。また、ブラジルルーツの子ども向けポルトガル語教室では日本の昔話を題材に楽しみながら言語を使う機会を提供しました。その保護者を対象とした日本語教室では、受講者の興味関心に応じて日本の歴史や地域の民話を取り入れた授業を行いました。

劇の効果音を考える

EPISODE | 活動の現場から

劇の観客から「自分たちの先祖のことを知ることができてよかった」、「日本とブラジルの関係について知れてよかった」といった声が寄せられました。また、ポルトガル語教室では桃太郎をブラジル風にアレンジした「マンゴー太郎」の劇に挑戦しました。



昔話から新たな語彙を見つける

MESSAGE |

ご寄附を頂いた皆さまへ

私たちの活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。JICA基金の支援により活動の幅と質を高めることができ、子ども・大人双方から前向きな声が寄せられました。今後も継続的な取り組みに努めてまいります。

案件名：定住外国人向けキャリア形成と生活ガイドブック

実施団体：一般社団法人SETTEN（愛知県岡崎市）

実施期間：2025年2月～2025年10月

活動地域：愛知県



TOPICS | この活動で実現したこと

本事業では、愛知県に多く居住する定住日系外国人が安心して働き暮らせる社会の実現を目指して、多言語（日本語・ポルトガル語・スペイン語）のキャリア・生活ガイドブックを作成し、自治体等を通じて配布しました。「将来を考えるきっかけになった」との声も寄せられ、今後は内容を活かした講座展開を予定しています。

外国人の健全な受入に関する研究会へ配布

EPISODE | 活動の現場から

企業への配布を通じ、日本人社員が定住外国人のキャリア形成を支援する難しさが明らかになりました。本ガイドブックは日本人社員側の支援にも役立つ教材として評価され、来日時に欲しかったとの声も多く寄せられました。



キャッサバ芋販売で配布

MESSAGE |

ご寄附を頂いた皆さまへ

皆さまのご寄附により、定住外国人が日本社会を理解し、安定した生活と正規雇用を目指すガイドブックを完成させました。本冊子は地域と外国人をつなぐ架け橋となっています。今後も共生社会の実現に向けて活動を続けてまいります。

団体情報はこちら

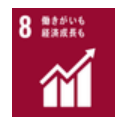


案件名：移民ルーツの若者をエンパワメントする「プロジェクトポンテ」
の拡大に備えたメンター獲得事業

実施団体：特定非営利活動法人 immi lab（京都府京都市）

実施期間：2025年3月～2025年12月

活動地域：滋賀県、京都府を中心とした関西全域



TOPICS | この活動で実現したこと

移民ルーツ※を持つ若者のレジリエンスを育む伴走型プログラム「プロジェクトポンテ」として、メンター育成と体制強化に取り組み、2025年度は15組、累計50組をマッチングしました。対話や研修により安心して将来を語れる環境を整え、味方（アライ）の拡大につなげています。

※本事業での「移民」とは、中南米から出稼ぎのため来日し日本での生活を築き上げた世代を指し「移民ルーツ」とはこの子どもたちの世代を指します。

スピーチコンテスト

EPISODE | 活動の現場から

スピーチコンテストには保護者も参加し「多くの人に励まされる姿に感動した」との声がありました。メンティ（移民ルーツを持つ若者）が妹弟を連れてくる例も多く、将来参加を望む子どももいます。若者支援が家族や地域へ広がり、コミュニティ全体に好影響をもたらしています。



メンター交流会

MESSAGE | ご寄附を頂いた皆さまへ

移民ルーツの若者を取り巻く状況は厳しく、不安の声も多く聞かれますが、皆様の寄附は安心と希望を届けました。「活動に関わって良かった」というボランティアの声とともに、若者の成長を支えています。



団体情報はこちら

案件名：牛糞の清掃と牛糞堆肥の活用を通じたモデル農家創造プロジェクト

実施団体：一般社団法人わかいふあーむ（広島県福山市）

実施期間：2024年12月～2025年12月

活動地域：インドネシア・ロンボク島中部ロンボク県スガラアニャル村



TOPICS | この活動で実現したこと

インドネシア・ロンボク島のスガラアニャル村で、牛糞堆肥の製造とペレット化により衛生・環境改善と化学肥料依存の軽減に取り組みました。協力農家17名が自ら生産・活用するようになり、牛糞を「ごみ」から「宝」と捉える意識変容も生まれました。今後は産学官連携を活かした継続展開を予定しています。

村長との写真

EPISODE | 活動の現場から

化学肥料・農薬の高騰対策が課題と考えていましたが、現地での対話から、肥料・農薬の過剰使用が地域農業の持続性に影響していることが分かりました。これまで「ごみ」と思われていた牛糞を、農家の皆さんが「宝だ」と言いながら集める姿は、私たちにとっても忘れられない光景となりました。



牛糞堆肥のペレット化

MESSAGE | ご寄附を頂いた皆さまへ

活動へのご支援をありがとうございます。本事業は単なる技術支援にとどまらず、農家が新たな取り組みに誇りを持つ契機となり、地域の未来への第一歩となりました。今後も日本とインドネシア双方の農業を元気にする学びと実践を重ねていきます。



団体情報はこちら

案件名：来日直後の日本語がおぼつかない在日ネパール人児童に対する効果的な学習支援体制構築プロジェクト（フェーズ2）

実施団体：特定非営利活動法人SEWA（福岡県筑紫野市）

実施期間：2024年12月～2025年12月

活動地域：日本



TOPICS | この活動で実現したこと

来日したネパール人児童は、日本語学習の機会が少ないまま学校に通い、学習面で困難を抱えています。そこで、小学校算数の副教材として、教科書用語をネパール語と英語で併記した教材を作成しました。併せて、多文化共生教育プログラムを実施し、言語や文化の違いによる学習の壁を和らげる取り組みを行いました。

ネパール人児童による副教材の活用

EPISODE | 活動の現場から

本事業では、プロジェクト総括者の急病や海外での通信制限など想定外の事態が重なりましたが、役割分担の見直しや実施時期の調整により事業を継続できました。リスク管理の重要性を学ぶ貴重な経験となりました。



多文化共生教育プログラムのパイロット授業

MESSAGE | ご寄附を頂いた皆さまへ

外国にルーツを持つ子どもたちの課題解決が急がれる中、JICA基金のご支援により、在日ネパール人児童への効果的な学習支援を実施することができました。団体ウェブサイトで作成した副教材や多文化共生教育プログラムの教材を紹介しています。



団体情報はこちら

案件名：インドネシアの都市カンポンにおける魅力再発見と防災意識向上プロジェクト

実施団体：SOWER（熊本県上益城郡）

実施期間：2024年12月～2025年12月

活動地域：インドネシア・ジョグジャカルタ特別州のカンポン（集落）



TOPICS | この活動で実現したこと

自然災害が頻発するジョグジャカルタ特別州のカンポン（集落）で、「将来に残したい魅力的な景観」と「災害時に危険な箇所」を特定し記録する住民参加型の防災ワークショップを実施しました。27名が参加し、地域の魅力や危険箇所を可視化する教材を作成しました。住民の高い関心と防災意識の向上、持続的な取り組みの可能性が示されました。

プリンゴラヤン村での現地調査

EPISODE | 活動の現場から

プリンゴラヤン村でのワークショップには、災害対応の経験豊富な災害リスク軽減フォーラム（日本の自主防災組織に類する組織）メンバーも参加し、その知見が他の住民の刺激となりました。今後は地域人材の参画を促し、主体的な防災活動につなげていきます。



ワークショップ（マップへの記録）

MESSAGE | ご寄附を頂いた皆さまへ

JICA基金のご支援のもと、熊本地震の経験を生かし、現地の人々とできるだけ近い目線で協働する防災活動を実施しました。その結果、参加者から高い満足度と学びにつながったとの評価を得ました。今後は他地域にも展開していきます。



団体情報はこちら

案件名：日本語教室が繋ぐ地域と外国人
実施団体：浦添市国際交流協会（沖縄県浦添市）
実施期間：2024年11月～2025年10月
活動地域：沖縄県浦添市



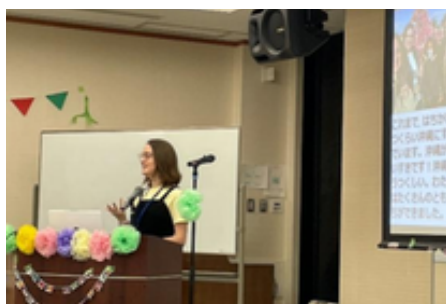
TOPICS | この活動で実現したこと

当団体は地域日本語教室の開催に向けて、本事業開始前に講演会や研修への参加等の事前準備を進めてきました。JICA基金により、外国人住民の読み書き学習への強い要望を受け、長年の課題であった地域日本語教室の再開が実現しました。地域住民と外国人住民が出会い、学び合う日本語教室を1年間通じて開講しました。

日本語教室の様子

EPISODE | 活動の現場から

前期日本語教室の成果発表会では、受講者がスピーチや歌で学びの成果を披露し成長が感じられました。終了後には交流会も実施され、日本語教室が人と人をつなぐコミュニティとなっていることを実感しました。



成果発表会の様子

MESSAGE |

ご寄附を頂いた皆さまへ

JICA基金のご支援により、地域住民と外国人住民が学び合う日本語教室を通年で実施しました。延べ350名超が参加し、学びと交流を通じて、多文化共生の広がりを受講者の「第二の居場所」づくりにつながっています。

団体情報は[こちら](#)



案件名：島嶼県沖縄における地域日本語教室をハブとした多文化共生社会づくり
～今ある情報と人を繋げるネットワークの構築から～

実施団体：おきなわ日本語教室プロジェクト（沖縄県那覇市）

実施期間：2024年12月～2025年11月

活動地域：沖縄県



TOPICS | この活動で実現したこと

本事業は沖縄県内の地域日本語教室に着目し、人と情報をつなぐ多文化共生のハブづくりを目指しました。合同成果発表会の開催や、日本語教室情報をまとめたホームページ・リーフレットを作成し、運営者同士の横のつながりを創出しました。点在していた情報を可視化し、今後も必要な人に公平に情報が届く仕組みづくりを進めていきます。

ホームページおひろめ会&情報共有会

EPISODE | 活動の現場から

合同成果発表会では、学習者が学びを自分の言葉で伝えようとする姿と、それを温かく見守る支援者の様子が印象的でした。地域日本語教室が学びの場と同時に、人をつなぐ拠点であることを再確認しました。



制作した日本語教室ホームページ

MESSAGE |

ご寄附を頂いた皆さまへ

皆さまのご支援により、活動開始間もない当団体にとって、挑戦と成長の機会を得ることができました。作成したホームページやリーフレットを活用し、沖縄県内の日本語教室の連携を深め、多文化共生社会の実現に向けた活動を今後とも続けてまいります。

団体情報は[こちら](#)





世界の人びとのためのJICA基金ニューズレター2026前期
発行：独立行政法人国際協力機構 国内事業部市民参加推進課
〒100-0004東京都千代田区大手町1-4-1竹橋合同ビル
TEL:0800-100-5931（寄附専用ダイヤル）

<https://www.jica.go.jp/activities/schemes/partner/private/kifu/index.html>